



若葉が芽吹く季節になりました。今日は新たな出逢いの日です。

六年間の小学校課程を修了し、三年間の中学校課程に進んだみなさん、入学おめでとうございます。この三年間、みなさんにはいろいろな出来事が起こります。そしてみなさんは、その一つ一つのことを喜んだり、悲しんだり、自分に自信もったり、自信をなくしたりしながら、心と体を大きな成長させます。そんな多感な時期を、みなさんといっしょに歩めることを、うれしく思います。

また、今日の日を迎えられた保護者のみなさま、本校職員を代表して、心からの祝意と歓迎を申し上げます。

さて昨年度は、新型コロナウイルスが私たちの生活を大きく変えました。そして、私たちはそこから多くのことを学びました。

例えば、私たち人間は、一人で生きることがむずかしいこと。

昨年度の臨時休校中にみなさんは、友だちや先生と会いたい、みんなと遊びたい、学校でともに活動したい、そんな気持ちになったはずです。友だちや先生とのかかわりが、いかに貴重だったかが分かりました。

大人たちも、いつものように顔を合わせて仕事ができなくなり、不都合が生じたり、心と体の不調を訴えたりする人がいました。

例えば、私たち人間には、どんな状況でも責任をもつてものごとを進める勁さ（つよさ）があること。

医師や看護師のみなさんは、命の危険も顧みず、最前線で感染症の治療にあたっています。お店などを経営する人たちは、コロナの影響で経営が苦しい中でも、黙々と仕事をこなしています。そうした態度は、尊敬に値します。

みなさんも、臨時休校後の学校生活で、係や当番の仕事をしっかり果たし、やるべき勉強をコツコツと積み上げてきたはずです。

例えば、私たち人間には、困難に立ち向かう人々や頑張る友だちを、励ましたり優しくいたわったりする気持ちがあること。

みなさんにも経験があるはずです。一人でくじけそうな時、近くの友だちが声をかけてくれたから頑張れたという経験が。中学校でも、仲間とともに頑張るという経験を積んでほしいと思います。

ただし、注意しなければならないことがあります。

私たちは頑張ろうと考える時、他の人と自分を比較します。そして、頑張ろうという気持ちが強すぎると、相手をおとしめようという邪悪な心が大きくなり、いじめという行為を引き起こします。

おそらく、勁さも優しさも、そして邪悪な心も、もともと私たち人間がもっているものです。そして、それらの感情が一つ一つの行動となって表れるのです。だから私たちは、勁さや優しさを行動に表し、邪悪な心が行動に表れない生き方を、日々の生活の中で、身に付けなければなりません。

大人になる途上にあるみなさんは、大人ほど、この邪悪な心を抑えることができません。そこで、私たちはみなさんと次の約束をします。

- 一 すべての生徒を全力で応援します
- 二 仲間に悲しい思いをさせる行為を、全員で指導します
- 三 いつでもどんな相談でも聞きます
- 四 相談されたら、その日のうちに問題解決に立ち上がります

幸せという言葉を表す英語は、happiness です。この言葉の語源は happen 偶然の機会という意味です。様々な偶然が重なり、みなさんはここにおいて、みなさんの隣に新しい仲間、新しい先生がいます。幸せは、偶然に何かが起こる、その積み重ねです。

今日から、みなさんの新しい人生、新しい生活が始まります。

幸せに向かって、新たなる一歩をともに踏み出しましょう。

令和三年四月七日

岐阜市立加納中学校長 七野武稔